

令和6年度 河川調査の内容について

1. 既存資料収集、整理

- 貸与した相模川の河川環境（主に魚類、生態系）に関する既存の調査結果等を整理
- 公開されている相模川の河川環境（主に魚類、生態系）に関する論文を収集
- 貸与または収集した資料は、年、目的、調査項目、調査時期等を整理

2. 現地踏査

- 平常時の流況、水際環境や砂州の状況を把握
- 堰の構造や取水施設の状況等を現地で確認

3. 河川流況解析

3-1 現況河道モデル作成

- 対象範囲： 1級河川相模川
相模大堰から寒川取水堰下流まで
- 概要： 流況解析に使用する3次元モデル作成
使用するデータは、河川管理者所有の点群データ

3-2 取水地点及び取水量変更に伴う流況解析

- 段階的な取水量変化及び河川流量変化により20パターン解析
- 解析結果として河川流況のうち魚類の生育に関わる項目を整理（流量、流速、水深など）
- 解析結果を補完する現地調査計画を作成

4. 評価

- 流量変化の状況を整理
- 流量変化の所見及び評価